

安全な場所 なんてない!?

経験者から学ぶ 真の防災力とは!?

近年全国的に大規模災害が多発し、令和元年10月に発生した台風15号、台風19号における広域的な水害は各地に甚大な爪痕を残したことは記憶に新しいところです。本フォーラムでは実際に災害に直面し、復旧に尽力された体験談を通じて、災害時に起きた地域における課題や災害を意識した日ごろからの備えについて関心を高め『ざま』における支え合いの地域づくりを考えます。

開催日時

令和2年 2月8日 **土**

13:30～16:30 (開場13:00)

定員

先着130名

場所

サニープレイス座間 3F 多目的室

対象

どなたでもご参加いただけます。(参加無料)

申込み

TEL・FAX・E-mail・窓口 **【~~×~~切り：1月31日(金)**】



立入禁止

KEEP OUT

立入禁止

KEEP OUT



社会福祉法人
座間市社会福祉協議会

座間市緑ヶ丘一丁目2番1号

TEL:046-266-2001 FAX:046-266-2009

E-mail : kikaku@zamashakyo.jp

座間社協

検索

第1部 基調講演

災害時の地域における実態 我々は大丈夫！ではすまない!?



富津市社会福祉協議会

課長 鈴木著代(すずき あきよ)氏

千葉県の南部に位置し、東京湾に面した富津市の社会福祉協議会で課長を務める。観測史上最強クラスの勢力で2019年9月9日に上陸した台風15号の直撃により、富津市内においても甚大な被害が発生。同市災害救援ボランティアセンターの立ち上げからその中心的な役割を担い、職員・ボランティアの指揮を執った。

「ボランティア×地域住民力」による復旧について経験談を元に災害時の地域における実態、真の防災力について語る。

株式会社 kipuka(キプカ)

代表 早川大(はやかわはじめ)氏

社会の安全神話に疑問を感じ、2000年に危機管理会社(有)クライシスインテリジェンスの起業に参加。

2004年より子ども・地域向け「危機管理アドバイザー」として活動を開始。防災支援イベント「あそぼうさい」をプロデュース。

2019年10月富津市社会福祉協議会 災害救援ボランティアセンターの運営支援等にあたる。

「防災は地域づくり＝地域づくりは防災づくり」をコンセプトに平時からの災害に備えた地域活動について語る。



第2部

パネルディス カッション

災害に強い『ざま』へ！

日頃からの防災・減災に向けた取り組みを通じた地域住民のつながり強化と『ざま』における支え合いの地域づくりについて考えます。

★パネリスト

富津市社会福祉協議会 課長 鈴木著代氏

株式会社kipuka 代表 早川大氏

ざま災害ボランティアネットワーク 代表 濱田政宏氏

★コーディネーター

座間市社会福祉協議会